

平成 22 年度
那 霸 市 若 狭 公 民 館
事 業 報 告



Ⅱ 平成22年度若狭公民館事業目次

1	学習風景（写真）	3
2	成人一般対象事業	
〔1〕	成人講座	
	◇ご近所からはじまる最先端の地域ビジョン	4
	◇『平和学習』のあたらしいカタチ	5
	◇家族で学ぶ介護・介助の技術と心得	6
3	高齢者対象事業	
〔1〕	高齢者学級	
	◇若狭を走っていた電車から歴史をたどる	7
4	青少年対象事業	
〔1〕	少年教室	
	◇公民館から学校に通おう！“通学合宿”	8
	◇秋のトム・ソーヤとハックルベリー・フィン	9
〔2〕	青年のための講座・交流事業	
	◇100人でだるまさんがころんだ	10
〔3〕	親子ふれあい教室	
	◇親子であそび場を作ってみよう～夏のトム・ソーヤとハックルベリー・フィン～	11
	◇親子でプラネタリアムをつくろう～冬のトム・ソーヤとハックルベリー・フィン～	12
5	家庭教育事業	
〔1〕	乳幼児学級	
	◇シングルマザーあつまれっ！ Happy ママ・クラブ	13
6	その他事業	
〔1〕	地域連携事業	
	◇第14回若狭地域文化祭	14
	◇若狭クリーン・グリーン・グレイシャス運動	15
	◇新春もちつき大会	16
	◇第16回ナイトウォーク	17
	◇比嘉座わかさ公演	18
7	公民館まつり	19

1 学習風景



☆成人講座
『『平和学習』のあたらしいカタチ』



☆成人講座
「家族で学ぶ介護・介助の技術と心得」



☆高齢者学級
「若狭を走っていた電車から歴史をたどる」



☆少年教室
「通学合宿」



☆青年のための講座・交流事業
「100人でだるまさんがころんだ」



☆親子ふれあい教室
「親子であそび場を作ってみよう
～夏のトムソーヤとハックルベリー・フィン～」

2 成人一般対象事業

〔1〕 成人講座

ご近所からはじまる最先端の地域ビジョン ～ PTA？ 自治会？ってなんだろう ～

趣 旨：PTA、自治会には頑張る方々がいます。でも、ほかの地域は楽しそうだったり大変そうだったり。そもそも PTA、自治会ってなんだろう？ この講座では、社会関係資本と新しい地域づくりの視点から、この問いにせまります。

日 時：平成22年7月2日（金）、9日（金）

場 所：若狭公民館 第1研修室

対 象：那覇市に住む子育て世代、PTA、こども会、自治会などの関係者、まちづくりに興味のある方

受講料：無料

募集人数：40人（各回20人）

参加人数：計29人（第1回17人、第2回12人）

7月2日(金)、9日(金)	
19:00 開講式	20:10 受講生発表(一人一分)
19:05 講師紹介	20:45 講師のまとめ
19:10 基調講演	21:00 解散
19:50 受講生が気がついたことをペーパーに記入 休憩	



（受講生の感想）

・今日はこの講座に引き寄せられてきたと感じており、内容もまさにその通りでした。感謝します。講義のやり方が素晴らしい。

・地域力、地域の人とのコミュニケーションを深め、より安心安全な地域づくりを行いたいと思います。

（まとめ）

基調講演後、受講生も発表して意見交換する手法が大評判。「大学の先生だから、東大の先生だからというのは関係なくて、話す方が実態を把握して話しているのか。そういう意味では分かりやすかったです。今後も期待しています。」という発言のように、地域づくりの現場で苦労している方の情報を共有する講座でした。

明治以来の制度改革が必要とまで言われる今日、地方自治の課題に取り組む講師二人から、地域の受け皿としての自治会、PTA の存在意義に関するビジョンが受講生に伝わり、受講生からも多様な反応がありました。

『平和学習』のあたらしいカタチ

趣 旨：戦後65年経った現在でも沖縄県には全国の米軍基地の75%（沖縄本島の20%を占める）が集中しており、米兵による事件が後を立たない。戦争体験者が少なくなる中で、戦争や基地がある現実を身近なものとして捉え、平和について考え、伝えていくにはどうすればよいのか。沖縄国際大学に米軍ヘリが墜落した日にあわせてフォーラムを行うことで、次代を担う若い世代が主体的に平和教育について考える契機とする。

日 時：平成22年8月13日（金）19：00～21：00

場 所：若狭公民館 3階 ホール 参 加 料：無料

参加者数：50人 USTREAM 視聴者：同時視聴48人／録画視聴406人（3月8日現在）

内 容：1）フォーラム：パネリスト活動紹介（各10分）のあとパネルディスカッション。

パネリスト 知花竜海（ミュージシャン） 親川志奈子（琉球大学大学院生）

宮里沙季子（NGO「ONE LOVE」） 北上田源（アメラジアンスクール講師）

2）フロアディスカッション：フロアも交えて意見交換を行う。



それぞれの活動紹介を行う若いパネリスト（左から、北上田、宮里、親川、知花）



会場の様子（参加者の9割が青年層）



パネリストの活動紹介を受けた後、参加者の意見や感想を共有



フロアディスカッションでは、活発な意見交換が行われた



初の試みとして、インターネットによる同時配信。県外からの視聴もあり、意見等も寄せられた。

（参加者の声）

- ・ パネリストそれぞれの平和への思いが聞けて良かったです。沖縄で平和学習する上でのタブーというものを感じていましたが、立場をこえて考えていくという参加者からの意見に共感しました。
- ・ 平和学習のマナー化が解決できそうだ。4名の若い人たちの活動、実践を聞いて感じた。

（まとめ）

参加者からは「今」と「昔」、「戦場」と「沖縄」を結び付けて考えることが重要だと気づいた」など、様々な感想があり、気づきの多いフォーラムとなった。また、インターネット同時配信「USTREAM」を導入することで、視聴による遠方の参加者からツイッターを活用した意見や提案もあった。フォーラム終了後の録画視聴者数も多く、テーマの関心の高さを感ずると同時に、様々なメディアを活用するなど学習方法を工夫する意義を感じた。

家族で学ぶ介護・介助の技術と心得

趣 旨：自分自身の健康や家族の健康などは全て行政に任せるのではなく、市民一人ひとりが自分たちでできることを考えなければならない。介助を受ける者、介助を行う者の両者にとって楽で心地よく、できるだけ負担の少ない技術を習得し生活に生かせるようにするためにも、家族全員が介護・介助について心得と技術を学ぶ。

日 時：平成22年9月7日（火）19：00～21：00

場 所：辻町若狭クリニック5階（那覇市若狭3-5-17）

対 象：那覇市在住・在勤の方（高齢者介護・介助に関心のある方）

受講料：無料

定 員：15人（先着順）

参加者数：16人

講 師：田中信子（大道中央病院 介護主任）

新里剛史（理学療法士／大道中央病院 リハビリテーション部部長）

共 催：NPO法人地域サポートわかさ、医療法人陽心会

内 容：日常生活における介助（講話とデモンストレーション）

- ・ おむつや着替えの介助法
- ・ 車椅子とベッドの移動
- ・ 食事の介助



ホワイトボードを使った講義



人形を使ったデモンストレーション



講話を熱心に聞く参加者

（参加者の声）

- ・ 心得として「相手に対する気持ちを大事に」ということを心に留めて接したいと思います。
- ・ 認知症予防についてのお話も聞け、参考になりました。
- ・ 良い内容でした。あと数回、一人ひとりが実践する講座をやっていただけたら嬉しいです。

（まとめ）

介護・介助法として、介助される側への配慮や心構えから、オムツ替えや洋服の着替え、車椅子とベッドの移動など、日常生活において役立つちょっとしたコツまで、幅広い内容を講話とデモンストレーションを交えて行った。家庭で介助を行っている参加者も多く、具体的な質問からより実践的な介助法を学ぶことができた満足度は高かったが、一回きりではなく、実技を交えて数回の連続講座にしてほしいという要望も多かった。

3 高齢者対象事業

〔1〕 高齢者学級

若狭を走っていた電車から歴史をたどる

趣 旨： 1932 年まで、那覇と首里を結び、若狭の町内も走行していた路面電車「沖縄電気軌道」に焦点をあて、講座を実施する。沖縄電気軌道のみならず、背景となる沖縄の交通史に関する講話を実施した上で、実際に電車が走行していた跡をたどり、歴史を身近に感じ、若狭及び那覇市の歴史を捉え直す機会とする。

期 間： 平成 22 年 7 月 7 日（水）～7 月 21 日（水） 全 3 回 時 間： 10:00～12:00

場 所： 若狭公民館第 1 研修室・移動学習（旧沖縄電気軌道沿線）

対 象： 那覇市内に在住、在勤の 60 歳以上で、3 回連続で受講可能な方

受講料： 無料（保険料実費 200 円を別途徴収）

定 員： 20 人（定員を上回った場合抽選）

申込人数：35 人 参加延べ人数：95 人

協 力： 沖縄都ホテル（施設内遺構見学）、首里観音堂（途中休憩場所）

学習プログラム：

回	日にち	講 師	内 容
1	7 月 7 日（水）	金城 功	沖縄県の交通と若狭を走った電車（講話）
2	7 月 14 日（水）	（現地説明）一柳亮太	旧沖縄電気軌道沿線を歩く（首里～女学校前駅間）
3	7 月 21 日（水）	金城 功 （現地説明）一柳亮太	旧沖縄電気軌道沿線を歩く（崇元寺～若狭町駅間） 講座を終えて（講話）



（左）金城功先生の講話／（中）車庫のあった崇元寺の前で集合／（右）都ホテル跡に残る橋脚の跡を見る（参加者の声）

- ・歴史の「跡」を捜すということは至難の技であることだし、よくぞ、その”こんせき”を調べたものだと思います。本当にありがたし。
- ・戦前のことが、少々わかった感じがします。これから学ばなければ…と意欲がわいてきたように思えます。
- ・歴史とロマンを辿る今回の講座、大変楽しかった。講師をはじめ公民館スタッフのきめ細かい計画や対応に感謝！ 今後もこうした歴史講座を多く持って欲しい。

（まとめ）

知っているようで知らない地域の歴史を、沖縄の交通、産業史研究で名高い金城功先生を招いて講座が開催できた。実際に線路跡の痕跡を探しながら歩く移動学習も、参加者の興味関心を集めていた。移動学習実施にあたっては、敷地内の遺構を見学させていただいた沖縄都ホテル、移動中の安全確保を図っていただいた地域の交通安全指導員の方々など、多くの方々の協力を得てこそこの事業であることを特に記したい。

4 青少年対象事業

〔1〕 少年教室

公民館から学校に通おう！ “通学合宿”

趣 旨：公民館に宿泊しながら、協調性や思いやりの心を育む体験をし、食事も自分達で作る事で生活リズムを整える事を学ぶ。身近な地域の開発やその一例として海の環境問題としてサンゴの学習と植付け、親子でコミュニケーションをとりながら半潜水船で実際の海を観察する。

日 時：平成22年7月22日（木）～24日（土）（2泊3日） 場 所：若狭公民館 和室・実習室

対 象：若狭・天妃・曙小学生4・5・6年生の児童 受講料：無料（但し実費3,500円自己負担）

募集人数：20人 参加人数：19人（男子8人・女子11人） 参加者延べ人数：57人

講師名：リベルテ・沖縄ペットワールド専門学校・沖縄海事広報協会・那覇港管理組合・医療法人 陽心会

7月22日(木)	7月23日(金)	7月24日(土)
13:00 開講式 14:00 若狭海岸線周辺開発 16:00 夕食の買い物・準備・後片付け 19:00 入浴 20:00 話し合い 21:00 就寝	6:30 起床・ラジオ体操 7:00 朝食準備・朝食・後片付け 8:00 サマースクール 13:00 昼食 14:00 サンゴ学習・植付け学習 17:30 夕食・後片付け 19:30 入浴 20:30 レクリエーション・話し合い 22:00 就寝	6:30 起床・ラジオ体操 7:00 朝食準備・朝食・後片付け 9:00 部屋の清掃 10:00 反省会 11:00 昼食の準備・昼食・後片付け 13:00 那覇港移動 14:00 親子で半潜水船乗船 15:30 閉講式



（こども達の声）

- ・ 食事の用意をして、家でも作って、家族に食べさせたいと思いました。
- ・ 若狭海岸線開発の勉強で、食べ物や洋服も外国から船で来るのを知り、大切にしようと思った。
- ・ ダイビングの用具を体験して楽しかった。今度本当にやってみたい。
- ・ サンゴの植付けを触って見ることで、海の中でどんな風になってるか本物が見たいと思った。
- ・ 半潜水船でサンゴも魚も見れたし、船の中は風船や、キーホルダーをもらってとても楽しかった。

（まとめ）

- ・ 食事を作る時、みんなで協力して準備して後片付けと、回を重ねる度にスムーズに出来るようになりました。
- ・ 学校は違えど、消灯してもなかなか眠れないほど、仲良くなって「もっと泊まりたい！」の声が多かった。
- ・ 子ども達の方から「レクリエーションしたい！」との声に積極性と、協調性を感じ、充実した通学合宿でした。

秋のトム・ソーヤとハックルベリー・フィン

～竹のドームづくり／ベンハーレース（竹の遊具づくり）～

趣 旨： 8月に実施した「親子で遊び場をつくってみよう」のシリーズ化。自分達の手で遊具や遊び場をつくり、地域づくり体験することを趣旨とします。第14回地域文化祭こどもイベント部と連携することで、地域行事との関係作りに寄与しました。

日 時：平成22年11月27日（土） 場 所：那覇市若狭海浜公園

対 象：那覇市内の小学生（低学年の子は親子で申込み） 受講料：無料

募集人数：竹のドームづくり、竹の遊具づくり各15人（計30人） 参加人数：計37人（16組）

11月27日(土)	
9:00～9:15	受付、開講式(竹のドームづくり、竹の遊具づくりを自由に受講できることも説明)
9:15～9:30	講師説明(竹のドーム:テイトス・スプリー、竹の遊具:ボーイスカウト那覇第16団)
9:30～12:00	製作
12:00～12:15	閉講式

竹のドーム作り



1. 竹割機で四分分割



2. 寸法に合わせて結ぶ



3. 星型の組み合わせ



4. 竹の骨組み起こします



5. 園芸ネットのカバー



6. 包んで完成！！



.講座終了後お祭りの児童館ブース。夜はライトアップ。



竹の遊具作り



1. 竹のブランコ作り



2. 三角錐にイスを結ぶ。



3. 完成後、順番待ち



4. ボーイスカウトのお兄さん



1. ベンハーレースは映画「ベンハー」にちなんだ投石器。



(まとめ)

竹のドームと遊具は、午後に「地域文化祭こどもイベント広場」の児童館ブース、風船飛ばし遊具になりました。受講生には制作したものが地域行事に役立っている様子をみてもらうことが出来ました。

〔2〕 青年のための講座・交流事業

100人でだるまさんがころんだ

趣 旨：大型旅客船バース建設をはじめ、ウォータースタジアム開発により大きく姿を変える若狭海浜公園で、多世代が楽しめるイベントを20～30代の公民館利用者が主体となり企画・実施する。
市民一人ひとりが、変わり行く街に対してのビジョンを持つ契機として、遊びを通して場所への思いを深めることを目的とする。

日 時：平成22年7月18日（日）10：00～12：00

場 所：若狭海浜公園 南側（波の上ビーチとなり）

参 加 料：100円（保険料等実費）

参加者数：67人

主 催：若狭海浜公園活用大作戦実行委員会

共 催：那覇市若狭公民館

■変わりゆく若狭海浜公園。あまり活用されていない野外ステージ周辺で遊ぶことで場所への思いを深める。

■公民館事業から生まれた「朝食会」メンバーが主体となり企画・運営を行い、公民館は側面支援を行う。

■「頑張り過ぎない」ことをモットーに参加しやすく、抜けやすい気軽なイベントを目指す。

■みんなが知っている遊びを通して、多世代交流を促す。

■当日の様子を撮影した「100人だるまさん」映像を、インターネットを通じて世界中に配信する。



（参加者の声）

- ・ 子どもたちにはかないません。次は大人の部だけでも優勝してやるぞー！と胸に誓いました
スタッフの皆様 お疲れ様でしたー！楽しい時間をありがとうございます。
- ・ キモチ E ぐらい大雨に降られてのだるまさんがころんだ、面白かったです！またやりたい！！

（まとめ）

第3回目となる今回も、若狭公民館「朝食会」のメンバーが主体となり、企画運営を行い、公民館スタッフは側面支援に徹することができた。これまでと告知方法を変え、今回はチラシの配布枚数を減らし、HPやブログ、ツイッターを活用した広報に力を入れた。その結果、これまでと比べて子どもの参加者が減った反面、20～30代の参加者が増え、全参加者の半数以上が青年層であった。

当日は、開始直後大雨に見舞われ、途中で終了することを検討したが「どうしてもやりたい！」という意見が多かったため、希望者のみ続行した。天候には恵まれなかったが、大人も本気になって遊ぶことができ、多世代交流のなかで公園への思いを深めることができた。また、参加者からは「100人でだるまさんがころんだ」に参加してはじめて那覇港海岸線の開発について知ったという声もあり、イベントを通して変わりゆく街（地域）について考えるきっかけをつくるというねらいは達成できたように感じる。

〔３〕 親子ふれあい講座

親子であそび場をつくってみよう

～夏のトム・ソーヤーとハックルベリー・フィン～

趣 旨：講師から子ども遊び場先進事例を紹介してもらい、市内でも工夫をすると自然体験ができること。

また遊び場を通して地域と人、技術が繋がり、自発的な地域作りの意識が芽生える事を趣旨とする。

日 時：平成２２年８月７日（土） 場 所：那覇市旭ヶ丘公園

対 象：那覇市内の小学校１年～６年生（親子で申込み） 受講料：無料（但し実費１,０００円）

募集人数：親子で１２組計２０数人 参加人数：親子で８組２４人（男１２人・女子１２人）

参加者延べ人数：３９人

８月７日(土) 午前	８月７日(土) 午後
10:20～10:30 公民館3階ホールで受付、資料配布	13:00～13:30 公園に移動。家族写真撮影。
10:30～10:40 開講式	13:30～15:30 木とロープ、竹でブランコ制作。
10:40～10:50 講師から海外事例映像紹介	15:30～16:20 ハシゴ、ツリーハウスづくり
10:50～12:00 ダンボールで家、トンネル、糸電話	16:20～16:30 閉講式
12:00～13:00 昼食	16:30～16:40 材料搬出



（受講生の声。那覇市の子ども達の遊び場について、ご意見・ご要望があればお聞かせ下さい。）

・シリーズ化して、今回の内容をまた開設してほしいです。今の子どもたちは自由に遊べる空き地も等もほとんどなく、試行失敗を遊びの中で経験するチャンスがとても少ないと思います。プレーパークを作る会でも今回のような遊び場づくりを試していますが、まだまだ認知度も低いように感じています。那覇の中でもいくつかの地域ごとに、子どもが自分の足でこられる、こうした自由な自然を活かせる遊び場が常設されるといいなあと思います。

・安全を考えると遊べる所がすくない。子ども達が考えて工夫して遊べるように、このような企画はとてもいいと思います。ティトス先生のご指導もとても良かった。このような活動を広げ、昔のように、のびのび工夫して遊べる子ども達の成長を助けてほしいと思います。

・もっと自然が多くて、ツリーハウスやロープなどで遊べる遊び場があればいいと思う。今回の企画は、とても勉強になって今後に役立てたい。

（まとめ）

講師のイメージする「子どもの力を信頼する、引き出す」という考え方をベースに、若狭地域のボーイスカウト那覇地区第１６団から、キャンプ資材やロープワークの技術支援を得ることができた。受講生から満足度の高い声に繋がった。竹とロープの結び方、ツリーハウスへの技術的な指導は親も関心が高く、自分達の力で遊び場を造る考え方を提供できたと思う。

地域の方から軽トラック、若狭二丁目自治会からテーブル類の貸出し、対馬丸記念館から緊急時避難場所など、さまざまなご協力を得ることができた。子どもの遊び場づくりをとおして地域のつながり、技術のつながり、行政へのポジティブな提言に繋がってほしい。

冬のトム・ソーヤとハックルベリー・フィン

～親子でプラネタリウムをつくろう～

趣 旨：「親子で遊び場をつくってみよう」のシリーズ第3回。親子で遊具や遊び場づくりを通しての地域づくり体験を趣旨とします。今回は、秋に制作した竹ドームでプラネタリウムを制作。

講師は星の専門家を招聘し、プラネタリウムと実際の夜空、両方を学びました。

日 時：平成23年2月5日（土） 場 所：那覇市若狭海浜公園

対 象：那覇市内の小学3～6年生。親か保護者と申込み。 受講料：一人200円

募集人数：12組（20数人）。 参加人数：8組（18人）

2月5日(土)

16:00～16:30 受付、開講式

16:30～18:00 公民館ホール(竹のドームづくり。布を張ってプラネタリウムづくり。)

18:00～18:30 休憩(実習室へ移動。軽食:そば)

18:30～19:00 星空教室(プラネタリウム投影)

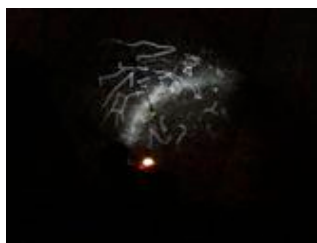
19:00～20:00 星空教室(若狭海浜公園に移動。望遠鏡二台使用)

20:00 閉講式

竹のドーム作り

A材(5本) 780cm
305cm 305cm

B材(5本) 780cm
252cm 252cm



(まとめ)

- ・時間の不安から、ドーム作りは担当職員が動きすぎてしまい、受講生への仕事割り振りに課題があった。
- ・制作後、軽食にそばを提供できたことはすごく良い休憩になった。
- ・講師の田端研二氏（久茂地公民館館長）の解説がよく、受講生のアンケート調査も評価が高かった。
- ・公園で二台の望遠鏡で月、土星の輪、オリオン座等、冬の星座も実際に体験できた。
- ・公園街灯を管理している那覇港管理組合の方にもお世話になり、受講生に星空体験を提供できた。

5 家庭教育事業

〔1〕 乳幼児学級

シングルマザー あつまれっ！ Happy ママ・クラブ

趣 旨： 沖縄県には母子家庭が多い反面、母子家庭の母親、即ちシングルマザーを対象とした子育てに対する教室、講座は皆無とも言える状況にある。同時に、当館近隣には県内有数の歓楽街である松山地区が存在し、在住・在勤のシングルマザーが多数存在するものと考えられる。シングルマザーが安心して子育て可能な環境の作り出す目的で、本講座を行う

期 間： 平成22年10月17日（日）～11月7日（日） 全4回

時 間： 14：00～16：00 場 所： 若狭公民館実習室・和室（託児）

対 象： 那覇市内在住・在勤の、小学生未満の子どものいる母子家庭の母親

受講料： 無料（保険料実費400円を別途徴収）

定 員： 先着親子15組 申込人数：10組20人 参加延べ人数：12組22人

共 催： しんぐるまざあず・ふぉーらむ 沖縄

学習プログラム：

回	日にち	講 師	内 容
1	10月17日（日）	国吉美佐江、（助手）栄順子	（料理）カンタン!! でも時間も栄養もOKな料理教室
2	10月24日（日）	福里直美	（育児）お母さんもぐっすり！ 子ども寝かし方教室
3	10月31日（日）	松本八重子、（助手）秋吉晴子	（救急）子どもが急な病気！ でも慌てないシングルマザーのサバイバル・キット
4	11月7日（日）	玉元一恵	（性教育）男の子と女の子の☆ヒミツ☆



学習風景、若狭図書館の協力を得て、図書館に子育て関連本コーナーも設置した。

（参加者の声）

・ぜひ継続して集まりの場を持っていけたらと思います。勉強会、交流会、様々な形でやっていければと思います。小さな子供がいるママさんはなかなか日程。時間調整、難しいと思いますが、一人でも多くの方に出会いたいですね。

・気軽に参加でき、情報交換もできて、とても有意義な時間をすごせた気がします。

・講座の内容もとてもためになり、これからの育児に活かしていきたいです!!

（まとめ）

NPO と共催で新たな視点での講座が開催できた。申込数に反して実際に参加者が少なかったのが課題だが、参加者の集まりが生まれたのは成果だと考えている。シングルマザーを支援する側からの反応も多かったのが、本講座の特徴でもあった。来年度も別の形態で、地域の課題に沿う形の子育て支援の講座を行いたい。

6 その他事業

〔1〕 地域連携事業

第14回 若狭地域文化祭

趣 旨：地域特性を活かし地域住民が関係機関・団体と連携・協力して文化的行事を企画実施することで、高齢者から幼児・児童・生徒までの三世代間の交流と地域の連帯意識の強化を柱に、祭りに訪れる県内外の観光客との交流を図り、地域文化を再認識するとともに、新たな文化を掘り起こし発信することにより、青少年の健全育成と豊かで活気に満ちた潤いのある地域を創ることを目的とする。

日 時：平成22年11月27日（土） 14：00～19：00

場 所：若狭海浜公園

参加人数：3,000人

主 催：NPO 法人地域サポートわかさ

助 成：一般社団法人しまたて協会

時間	内 容	時間	内 容
14：00～19：00	舞台発表	15：00～16：00	100人でだるまさんがころんだ
14：00～19：00	バザー（食べ物、飲み物 他）	14：00～日没	健康相談（無料）
14：00～17：00	移動児童館	9：00～12：00	秋のトム・ソーヤー（連携企画）



（まとめ）

第14回を数える若狭地域文化祭は、若狭近隣地域の各自治会および小・中学校、保育所、ならびに各社会教育関係団体からなる実行委員会を立ち上げ、地域住民が主体となって企画・運営している。今回は、子どもたちが主体的に参画できる場として「子どもイベント広場」を設けた。「子どもイベント広場」での遊びは、こども地域通貨「ちっぴる」を導入した。「ちっぴる」は、遊具作り、運営等に協力した児童・生徒には労働の対価として配布し、ゲームやお菓子購入などに使えるものとした。こども地域通貨「ちっぴる」の導入は実験的なものだったが、一定の成果をみる事ができた。今後も継続的な取組みとして年間を通じて取り組めるよう、仕組みやルールづくりを検討している。

若狭クリーン・グリーン・グレイシャス運動

(地域との連携事業)

趣 旨：地域の各機関が一丸となって公園清掃し、親睦を通して青少年健全育成を図ることを目的とする。

自治会、婦人会、小中高生、PTA 関係者、NPO、公民館利用団体を中心に地域が一丸となって若狭地域にある公園（旭ヶ丘公園・若狭海浜公園・若狭公園）の清掃を実施。また、プラス ONE 活動として、若狭公民館利用団体連絡協議会による豚汁の振舞いなべを食べながら交流会を実施する。

期 日：平成22年12月19日（日）9：00～12：00

場 所：旭ヶ丘公園・若狭海浜公園・若狭公園、若狭公民館

参加者：210人

対 象：小・中・高校生、自治会、婦人会、老人会、PTA関係者、青年会など

プログラム

	時 間	内 容		人数
1	9：30～11：00	地域清掃	オープニング、地域の公園清掃（若狭海浜・若狭・旭ヶ丘）	210
2	11：00～12：00	シンメナービー交流会	シンメナービーで豚汁・おにぎりを食べながらの交流会（若狭公民館駐車場）	180



自治会、NPO 等地域の社会教育団体が参加



FC 琉球の選手、ぐしけんくん、琉球ボンバーズが参加



清掃をしながら世代を超えた交流



終了後は、利用団体連絡協議会による振舞いなべ

(まとめ)

自治会、学校その他の団体・個人が参加し、地域でよく利用する若狭海浜公園・若狭公園・旭ヶ丘公園の清掃を実施した。普段、目が届かないところにある飲み物ゴミや粗大ゴミ等を回収・清掃を行なった。

今回は、子どもが主体的にまちづくりに参画する仕掛けとして、こども地域通貨「ちっぴる」を取り入れたほか、FC 琉球の協力を得るなどの工夫により、児童生徒の参加が増えた。

清掃後は若狭公民館利用団体協議会が豚汁・おにぎりを振る舞い、参加者で交流を深めることができた。

新春もちつき大会

趣 旨：地域住民の交流と親睦を深め、豊かな潤いのある地域づくりをはかることを目的とする。

日 時：平成23年1月8日（土） 10：00～12：00

場 所：那覇市若狭公民館玄関前 対 象：地域住民すべて

参加費：無料

参加人数：350人

日 程

10：00 オープニング①演舞 （あゆみ幼児学園）ミッキーマウスマーチ、星に願いを

②エイサー（若狭ちむどんどん太鼓）獅子ゴンゴン、笑顔のまんま

③獅子舞 （波上宮獅子舞保存会）

開会のあいさつ・・・・・・・・・・ 地域サポートわかさ 理事長 早川忠光

激励のことば・・・・・・・・・・ 若狭小学校 教頭 元野 公雄

館長あいさつ及びつき始め式・ 若狭公民館 館長 津嘉山 剛

10：30 つき始め

(写真)



オープニングあゆみ幼児学園



若狭ちむどんどん太鼓



波上宮獅子舞保存会



つき始め



もちをつく子ども達



小・中学生による司会



マイ食器持参



取 材



交通指導員

(まとめ)

今年は、例年以上の参加者で良いもちつき会を催す事が出来ました。

例年に続き、マイ食器、箸、コップ持参という事でエコを視野に入れて行い、ほとんどの人が持参して参加していました。司会も小中学生が行い、地域一体となったのもちつき大会となりました。

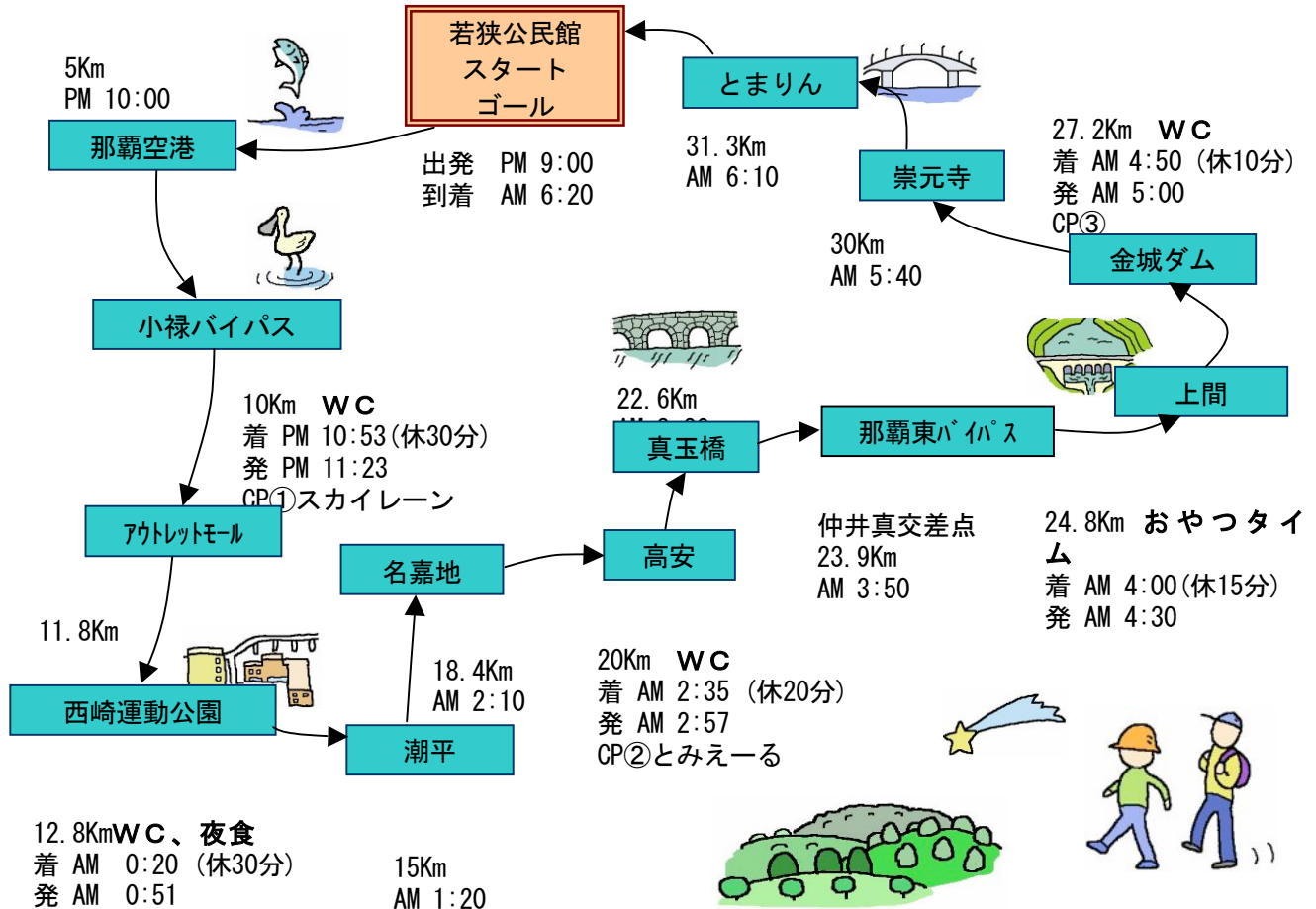
第16回ナイトウォーク

趣 旨：中学生が、非日常的な体験の中でお互いに励まし合い、助け合いながらゴールを目指すことにより
連帯感・達成感・充実感を共有し、友情を深め困難に立ち向かう気力を培うことを目的とする。

日 時：平成23年3月19日（土）19：30集合～20日（日）7：30解散

対 象：那覇中学校及び上山中学校の生徒 参加費：1,000円（夜食・朝食・おやつ代、保険料その他）

募集人数：定員50人 参加人数：78人 スタッフ33人（職員を含む） コース：32キロ



（受講者の声より）

- ・ 今年で3回目の参加でした。3回目のためか今年が一番楽に歩くことができ、とても楽しかったです。
- ・ 疲れたけど楽しかった。貴重な体験ができました。スタッフの皆さんありがとうございました。
- ・ はじめて参加しましたが、完歩出来て嬉しかったです。来年も参加したいと思います。
- ・ ハンバーガーとポタージュが温かくてとても美味しかったです。

（まとめ）

今年度は、80名以上の参加者が集まり心配しましたが、けが人や病人も無く無事終了する事ができました。ウォーキング協会からの7名を含め、体力・経験共にすぐれたスタッフが揃い大変助かりました。次年度は、参加者の目印をどうするか、だれが見ても解るようにしたいと考えています。

比嘉座わかさ公演

趣 旨：若狭地域にお住まいの高齢者や身体の不自由な方など、遠くまでお芝居を観に行くことのできない方々に対し、気軽に足を運べる公民館で、生のお芝居を楽しんでいただく。また、芝居を通して、芸能・文芸などの沖縄文化の基層を成す“しまくとうば”に触れ、考える機会をつくる。

日 時：平成23年3月21日（月）公休日 14：00～17：00

場 所：若狭公民館3階ホール

対 象：那覇市在住・在勤・在学の方

受 講 料：無料

定 員：100人 鑑賞者数：130人

講 師：比嘉座（比嘉陽花、照屋寛文、山里紗葉、香取光一郎）

内 容：沖縄をテーマに沖縄の方言で演じる沖縄的芝居「しまくとうばも戦世も語れない」の新作上演。

- ・ 本土の人を「人間」に、沖縄の人を「豚」にたとえて描かれた、失われていく言語（豚語）の研究者とその家族の物語『わーわー』を上演。
- ・ 座長・比嘉陽花のひとり芝居「きーんかいふるわーはったんわらび」。
（3階ロビー：アーティスト・平良亜弥さん「灯」の前にて）
- ・ 比嘉座とゆんたく茶会
鑑賞者と比嘉座のメンバーがお芝居やしまくとうばのことをざっくばらんに語り合う茶会。



（参加者の声）

- ・ 今、沖縄人がしっかりと考えるべきことを舞台にのせることは、とても勇気のいることだと思います。大切なテーマをおもしろく作っていました。若い人の挑戦に拍手を送りたい。感動しました。
- ・ 失われつつある沖縄の方言を、家族をテーマに現在から過去にわたってうまくまとめられていました。踊りもリズムカルでギャグもふんだんに取り入れられていてたいへん面白かった。
- ・ なんか笑ったけど泣きそうでした。祖母の話すこともわからない自分が恥ずかしいような情けないような気持ちです。次は、母や祖母、友達と一緒にみれたらいいなと思いました。
- ・ とても良かったです。この劇の持つ批評精神がすごい！アイロニーを漂わせる役者さん、脚本もステキ。

（まとめ）

会場には、親子連れや若者、高齢者まで幅広い層の方に足を運んでいただくことが出来た。

方言をしらない若い方は戸惑うところもあったようだが、それでも、脚本と演出の力で、失われていく言語、文化等深いテーマを楽しく鑑賞することができた。

「比嘉座とゆんたく茶会」では、鑑賞者と演者、それぞれの思いや意見を交換し、深めることができた。

6 公民館まつり

第19回若狭公民館まつり

趣 旨：若狭公民館を利用し活動している団体（サークル）の日頃の活動成果を発表・展示することにより、団体の学習活動継続への刺激を与える。また公民館まつりをとおり、団体（サークル）相互の連携を深める。若狭及び周辺地域を巻き込んだ「地域まつり」的な性格をもつまつりをしたい。

期 間：平成23年2月19日（土）、20日（日）、26日（土）

会 場：若狭公民館 参加人数：延べ 3,565人

主 催：若狭公民館利用団体連絡協議会

共 催：若狭公民館、若狭図書館、NPO法人地域サポートわかさ

内 容	時 間	会 場	参加人員
親子でつくろうお菓子の家	19日(土)10:00～12:00	ホール	55
オープニング	19日(土)13:00～13:40	公民館前道路	150
バザー	19日(土)13:40～16:00	玄関	100
お茶の体験教室	19日(土)14:00～16:00	ホール	100
音楽演奏の夕べ	19日(土)18:00～20:00	ホール	210
展示発表	19日(土)10:00～17:00 20日(日)10:00～15:30	研修室	800
舞台発表	20日(日)11:00～16:00	ホール	1200
健康相談コーナー	20日(日)14:00～16:00	3階ロビー	70
出店コーナー	20日(日)11:00～15:00	玄関	500
喫茶コーナー	20日(日)11:00～16:00	2階ロビー	250
社交ダンスパーティー	26日(土)18:30～21:00	ホール	130



(まとめ)

第19回若狭公民館まつりは、若狭公民館利用団体協議会（50団体）が中心となって舞台発表、展示発表、運営などを行った。体験教室は「お茶の体験」を実施した。舞台上に茶室を再現し参加者に好評であった。ホールでの舞台発表では、数年ぶりにファッションショーが行われ華やかなまつりとなった。ただ、前年に比べると出演団体数は減少した。

公民館まつり風景



エントランス案内



オープニング



親子で作ろう♪お菓子の家



バザー



お茶の体験教室



音楽演奏のタベ



展示発表



舞台発表